

立ち読み版



株式会社 SMALL WORLDS 代表取締役社長

こんどう まさひろ
近藤 正広さん

愛知県出身。青山学院大学卒業後、三菱信託銀行に入行。その後、ベンチャー企業立ち上げへの参加を経て、ヤフー株式会社でモバイル戦略室長を務め、ソフトバンクモバイル株式会社で通信事業の推進に関わる。2015年に(株)WILx (World Innovation Lab) に参画。経済産業省主催「始動 Next Innovator 2015」などで国内プログラムの企画・運営を担当する。2016年11月に株式会社SMALL WORLDSを創業し、代表取締役に就任。2020年6月に「SMALL WORLDS TOKYO」を開業する。

【写真】安岡 嘉

世界最大級の 屋内型ミニチュア・テーマパークを開業

【取材・文】原 正紀

株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役・高知大学客員教授・名城大学非常勤講師。中小企業診断士。早稲田大学法学部卒業後、大手メーカー、株式会社リクルートでの勤務を経て、独立。産学公個に対し、採用・育成・人事制度構築など、人材関係の幅広い提案を行う。著書に「採用水河期」(日本経済新聞出版社)、「優れた企業は日本流」(扶桑社)、「インタビューの教科書」(同友館)など多数。

HARA'S
BEFORE

日本で近年ヒットしているテーマパークは、海外から持ってきたものが多い。ところが、今年6月、日本のコンテンツを生かし、日本のものづくりの技術を活用したものが誕生した。日本初の世界最大級の屋内型ミニチュア・テーマパーク「SMALL WORLDS TOKYO」だ。テーマパークはエンターテインメント業界の象徴的な存在だが、その成功は難しいと言われる。前例のない挑戦に、どのような戦略で挑むのか。事業を立ち上げた近藤さんに話を聞いた。

「宇宙センター」エリア。1970年代のアポロ計画時代と未来の宇宙センター、2つが存在する。1970年代のエリアではサターンロケットVの打ち上げが見られる。



「世界の街」エリア。1900年代産業革命時代のアジアとヨーロッパを舞台とした5つの国が見られる。



© Naoko Takeuchi



「関西国際空港」エリア。飛行機が誘導に沿って離着陸する。10分ほどすると夕方になり、美しい夜景に変化する。



© Naoko Takeuchi

「美少女戦士セーラームーン」エリア。作品の舞台となる東京・麻布十番の90年代当時の街並みを再現。街に生活する人々の営みも垣間見える。



© khara

続きは雑誌で